



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2702 URL http://www.mcd-holdings.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名)サラ・エル・カサノバ  
 問合せ先責任者 (役職名)財務本部執行役員 (氏名)今村 朗 (TEL)03-6911-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	62,325	△5.4	2,402	△28.7	2,189	△34.3	1,263	△34.7
25年12月期第1四半期	65,910	△14.6	3,371	△53.3	3,335	△55.5	1,935	△54.8

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 1,264百万円(△34.8%) 25年12月期第1四半期 1,938百万円(△54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	9.50	—
25年12月期第1四半期	14.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	209,893	169,171	80.5
25年12月期	213,226	171,895	80.5

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期168,994百万円 25年12月期171,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	122,000	△5.9	4,000	△43.4	3,500	△53.1	1,900	△58.4	14.29
通期	250,000	△4.0	11,700	1.5	10,700	4.5	6,000	16.7	45.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	132,960,000株	25年12月期	132,960,000株
26年12月期1Q	829株	25年12月期	829株
26年12月期1Q	132,959,171株	25年12月期1Q	132,959,297株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、概ね終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

**(事業戦略に関する定性的情報)**

当第1四半期連結累計期間は、「すべてを、お客様のために」という理念のもと、QSC（信頼の品質、スピーディーで心地よいサービス、清潔で快適な環境）を基盤として、「マクドナルドの独自性の強化」、「変化するお客様の需要への対応」、「店舗環境の刷新」の3つの分野に経営資源を集中的に投入し、持続的な成長のための事業戦略を推進しました。

**商品戦略**

お客様に「古き良き時代のアメリカ」を感じ、楽しんでいただくことをコンセプトに「アメリカンヴィンテージ」キャンペーンを展開しました。「ダイナー ダブルビーフ」「ダイナー ハニーマスタード」、「ホット&グルービー ビーフ」「ホット&グルービー チキン」、「ファンキーBBQビーフ」「ファンキーBBQチキン」等、テーマごとにビーフとチキンを使用したバーガーに加え、新サイドメニュー、「クラシックフライwithチーズ」などを販売し、様々なアメリカンテイストをお楽しみいただきました。また、春の定番の期間限定商品「てりたま」に桜をモチーフにして彩りを加えた新商品の「さくらてりたま」や、「マックフィズ さくらチェリー」「マックフロート さくらチェリー」なども販売し、多くのお客様にご好評を頂きました。

**店舗開発戦略**

収益性の高い郊外型の大型ドライブスルー店舗を中心とした新規出店や、既存店のリモデル、リロケーションを進める一方、戦略的閉店を適切なスピードで実施し、店舗ポートフォリオの最適化を推進いたしました。これらの活動の結果、店舗数は以下の通り推移いたしました。

区分	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	区分移行		当第1四半期 連結会計期間末
				増加	減少	
直営店舗数	1,013店	5店	△18店	5店	△1店	1,004店
フランチャイズ店舗数	2,151店	3店	△7店	1店	△5店	2,143店
合計店舗数	3,164店	8店	△25店	6店	△6店	3,147店

**ブランドエクステンション**

中食へのシフト等、変化するお客様の需要に対応するため、マックデリバリーサービスを積極的に展開した結果、実施店舗は、当第1四半期末で149店舗となり、全国展開に向け順調に店舗数を拡大しております。また、専任バリスタによる本格派カフェコーヒーを提供するコーナー、マックカフェ パイ バリスタを併設した店舗は当第1四半期末で93店舗となりました。

**(経営成績に関する定性的情報)**

当第1四半期連結累計期間は、大雪の影響や過年度に決定した戦略的閉店を順次実施したことにより、システムワイドセールスは1,229億45百万円（前年同期比2.7%減少）、売上高は623億25百万円（前年同期比35億85百万円減）となりました。既存店売上高対前年同期比につきましても、2.5%の減少となりました。

また、当初より計画していたマーケティング費用の当第1四半期累計期間への戦略的な配分や店舗ポートフォリオ最適化への投資を積極的に実施したことにより、経常利益は21億89百万円（前年同期比11億45百万円減少）、四半期純利益は12億63百万円（前年同期比6億72百万円減少）となりました。

(注) システムワイドセールスとは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、四半期連結損益計算書に記載されている売上高とは一致しません。

(注) 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は751億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億96百万円の減少となりました。これは、配当金及びロイヤルティーの支払いが主な要因です。

固定資産は1,347億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億64百万円の増加となりました。新規出店やリモデル、リロケーション等による設備投資等で、有形固定資産が8億39百万円増加した一方、ソフトウェアの償却が進んだことなどにより無形固定資産が2億82百万円減少、また敷金及び保証金の回収等により、投資その他の資産が3億92百万円減少したためです。

流動負債は276億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億12百万円の減少となりました。これは未払法人税等が増加した一方で、ロイヤルティーの支払により未払金が減少したことが主な要因です。

固定負債は130億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円の増加となりました。これは閉店コストの見積りの変更により資産除去債務が増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の業績予想につきましては、平成26年2月6日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,041	54,946
売掛金	8,488	8,138
有価証券	15,098	2,500
原材料及び貯蔵品	1,203	986
繰延税金資産	797	797
未収還付法人税等	3,830	3,830
その他	4,259	4,023
貸倒引当金	△110	△110
流動資産合計	78,608	75,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,923	45,074
機械及び装置（純額）	5,556	5,383
工具、器具及び備品（純額）	3,924	3,901
土地	17,069	17,069
リース資産（純額）	4,199	4,491
建設仮勘定	959	552
有形固定資産合計	75,633	76,473
無形固定資産		
のれん	376	477
ソフトウェア	2,579	2,195
その他	755	755
無形固定資産合計	3,711	3,428
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	1,910	1,910
敷金及び保証金	46,368	45,819
その他	7,246	7,400
貸倒引当金	△318	△316
投資その他の資産合計	55,271	54,879
固定資産合計	134,617	134,781
資産合計	213,226	209,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	638	1,283
リース債務	1,239	1,374
未払金	17,025	14,536
未払費用	5,020	4,964
未払法人税等	131	949
賞与引当金	-	527
店舗閉鎖損失引当金	159	150
災害損失引当金	23	23
その他	4,107	3,822
流動負債合計	28,344	27,632
固定負債		
長期借入金	500	500
リース債務	3,363	3,529
再評価に係る繰延税金負債	413	413
賞与引当金	1,517	1,018
役員賞与引当金	405	403
退職給付引当金	1,805	1,794
役員退職慰労引当金	237	243
資産除去債務	4,439	4,882
その他	303	304
固定負債合計	12,986	13,090
負債合計	41,331	40,722
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	110,110	107,385
自己株式	△1	△1
株主資本合計	176,347	173,621
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△4,626	△4,626
その他の包括利益累計額合計	△4,626	△4,626
少数株主持分	174	176
純資産合計	171,895	169,171
負債純資産合計	213,226	209,893



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	65,910	62,325
売上原価	55,487	53,513
売上総利益	10,423	8,812
販売費及び一般管理費	7,052	6,409
営業利益	3,371	2,402
営業外収益		
受取利息	68	45
受取補償金	10	80
受取保険料	23	34
貸倒引当金戻入額	-	2
その他	73	30
営業外収益合計	175	194
営業外費用		
支払利息	25	24
貸倒引当金繰入額	0	-
店舗用固定資産除却損	107	338
その他	77	43
営業外費用合計	210	407
経常利益	3,335	2,189
特別損失		
固定資産除却損	73	12
固定資産売却損	2	-
特別損失合計	76	12
税金等調整前四半期純利益	3,259	2,177
法人税等	1,320	913
少数株主損益調整前四半期純利益	1,938	1,264
少数株主利益	2	1
四半期純利益	1,935	1,263

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,938	1,264
四半期包括利益	1,938	1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,935	1,263
少数株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。